

将来を担う九戸村の子どもたちに
より良い教育環境を提供するために！
(答申) 別紙

— 別紙目次 —

別紙 1	諮問内容・・・・・・・・・・・・・・・・	1
別紙 2	児童生徒数の推移・・・・・・・・	2
別紙 3	九戸村の目指す子ども像・人間像	5
別紙 4	小規模校のメリット・デメリット	7
別紙 5	村内の各小学校間距離等位置図	8

— 資料目次 —

資料 1	望ましい教育環境あり方検討委員会設置要綱	9
資料 2	望ましい教育環境あり方検討委員会委員名簿	11
資料 3	アンケート調査内容・結果	12
資料 4	望ましい教育環境あり方検討委員会【経緯】	15
資料 5	望ましい教育環境あり方検討委員会だより	

諮 問

九戸村教育委員会は、新九戸村総合発展計画に掲げる将来像「小さくても活力と笑顔溢れるしあわせの郷九戸村」を受け、将来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ、心豊かに「生きる力」を身に付けられるよう小中（高）連携した学力向上や地域全体で子どもたちを育てる学校教育の充実に努めているところです。

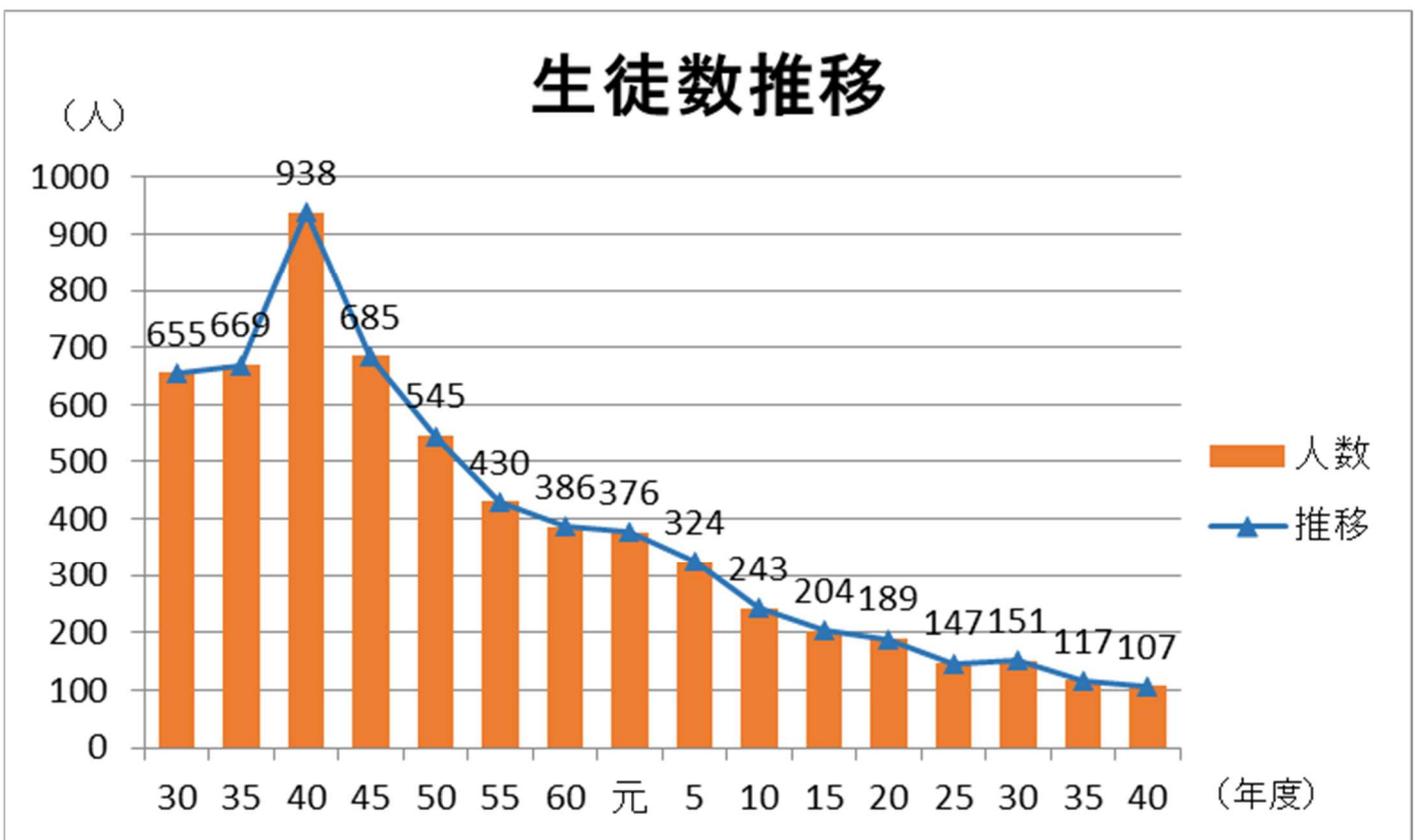
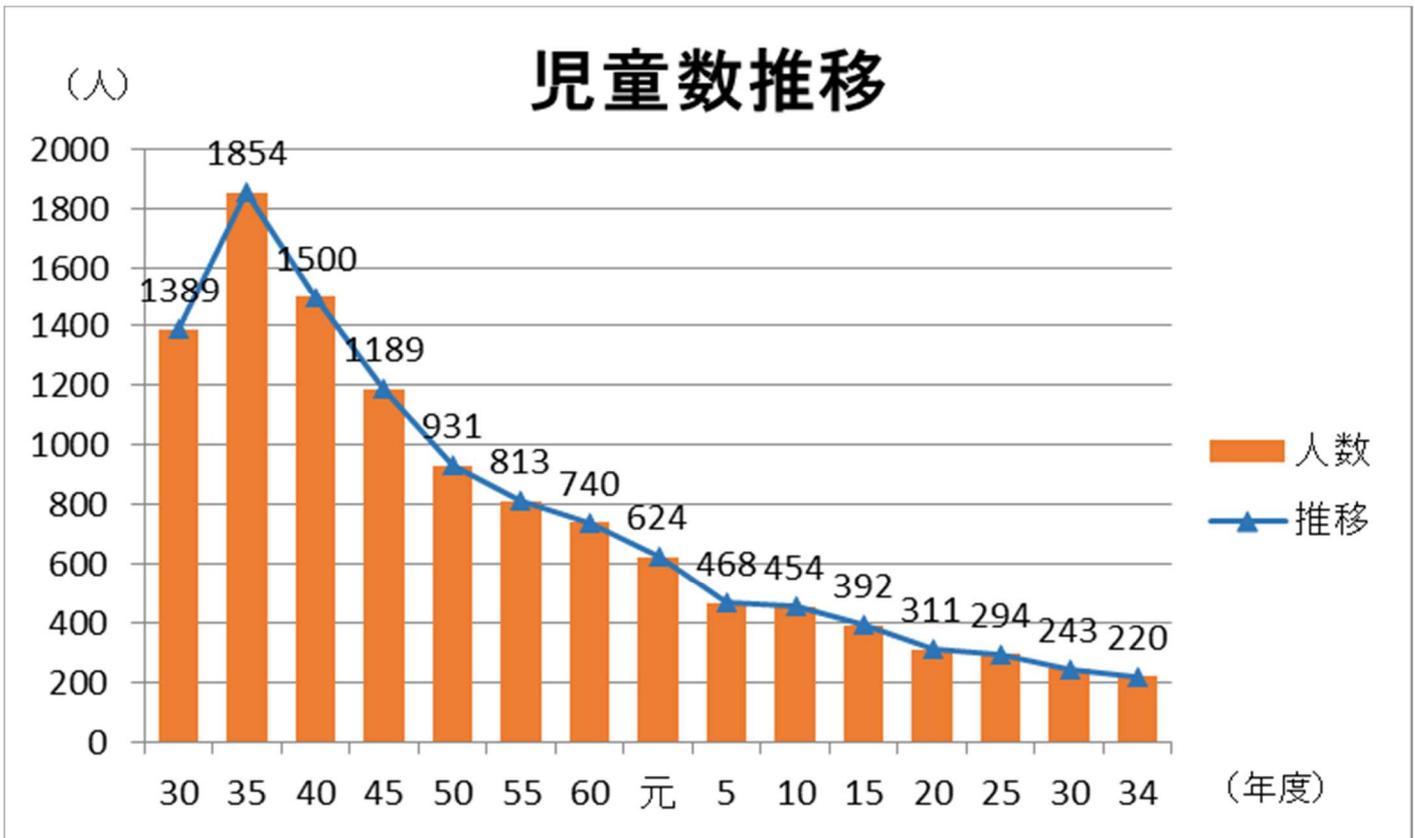
現在、私たちを取り巻く社会は、国際化や情報化、少子高齢化が急激に進み、また、子どもたちの教育環境は、学習指導要領の改正や小中一貫教育など、国の教育制度改革の推進により大きく変化する状況にあります。

このような中、本村は児童数の減少による学校規模、学級編制の課題がますます顕在化し、子どもたちの望ましい教育環境への影響が強く懸念されているところであり、「生きる力」を身に付ける学校教育環境のあり方が喫緊の課題となっています。これらの諸課題に対応した学校教育の充実に努めるため、下記の点について、「望ましい教育環境あり方検討委員会」設置要綱第2条の規定により諮問します。

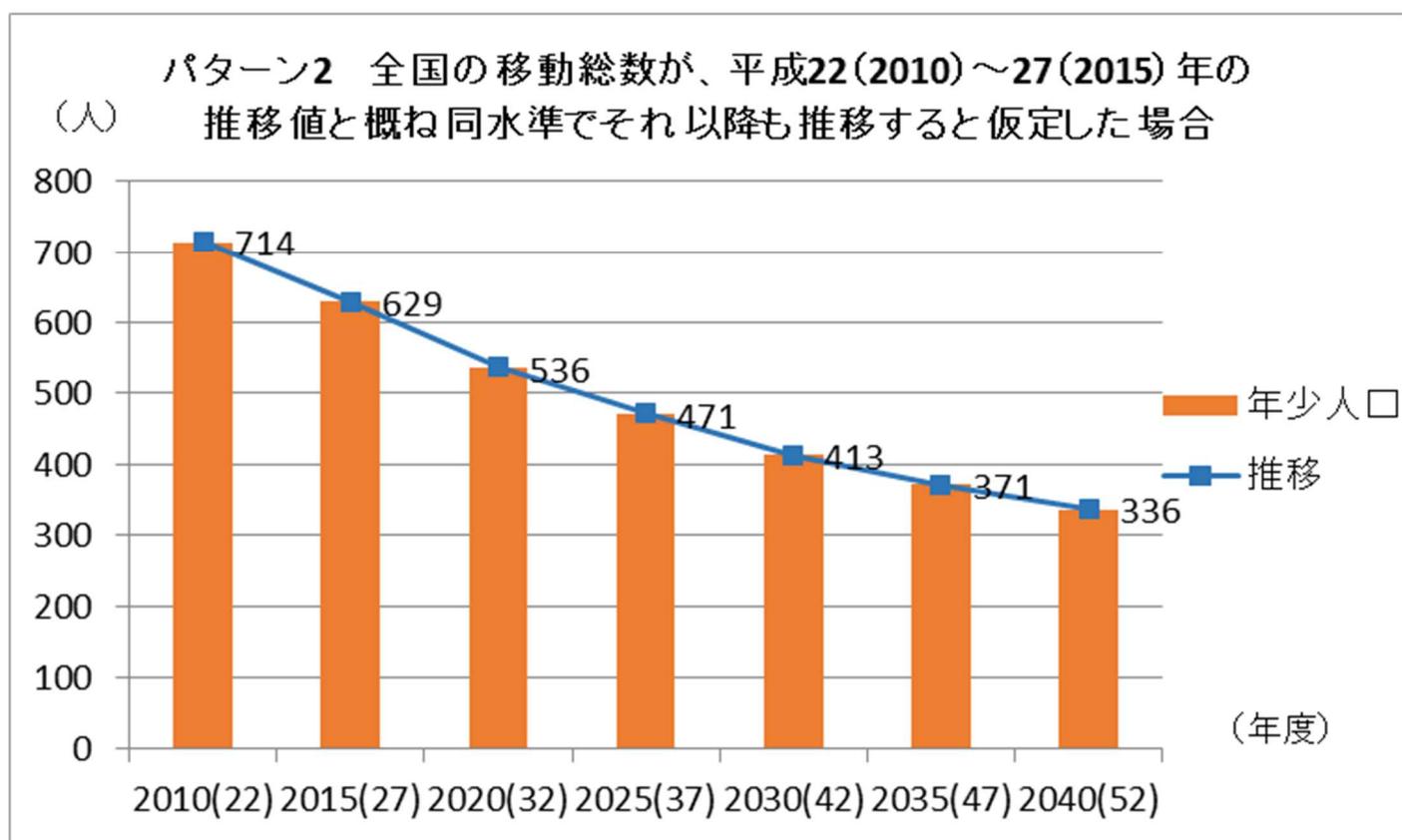
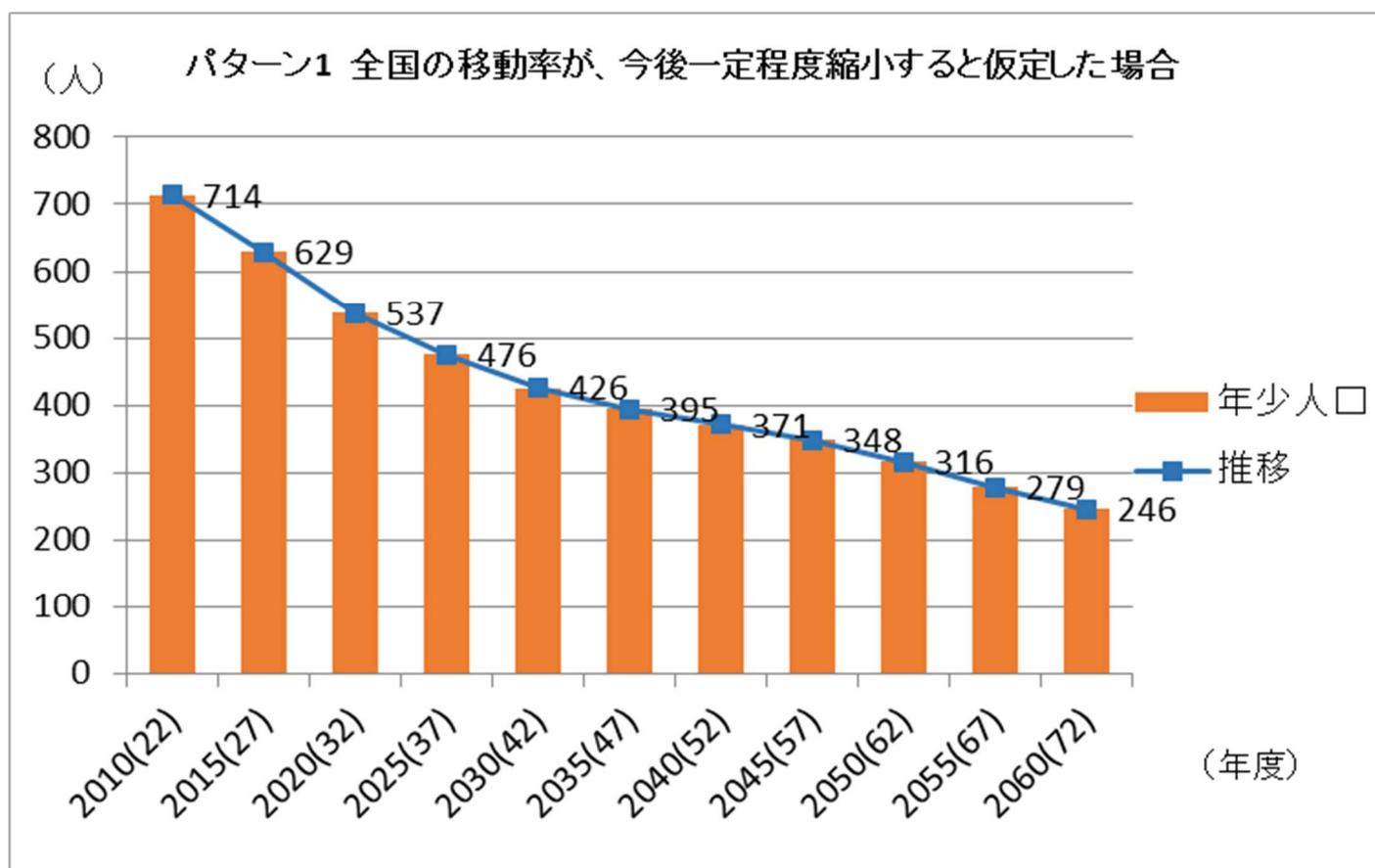
「将来を担う九戸村の子どもたちの望ましい教育環境のあり方について」

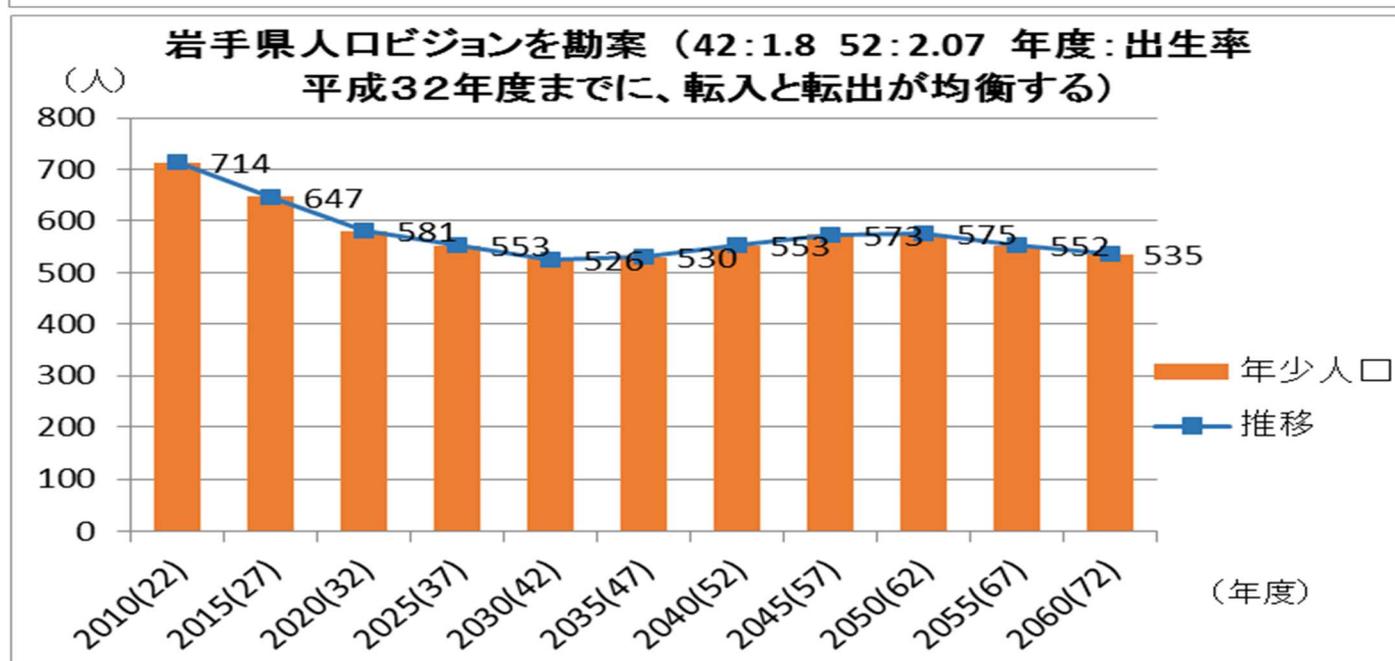
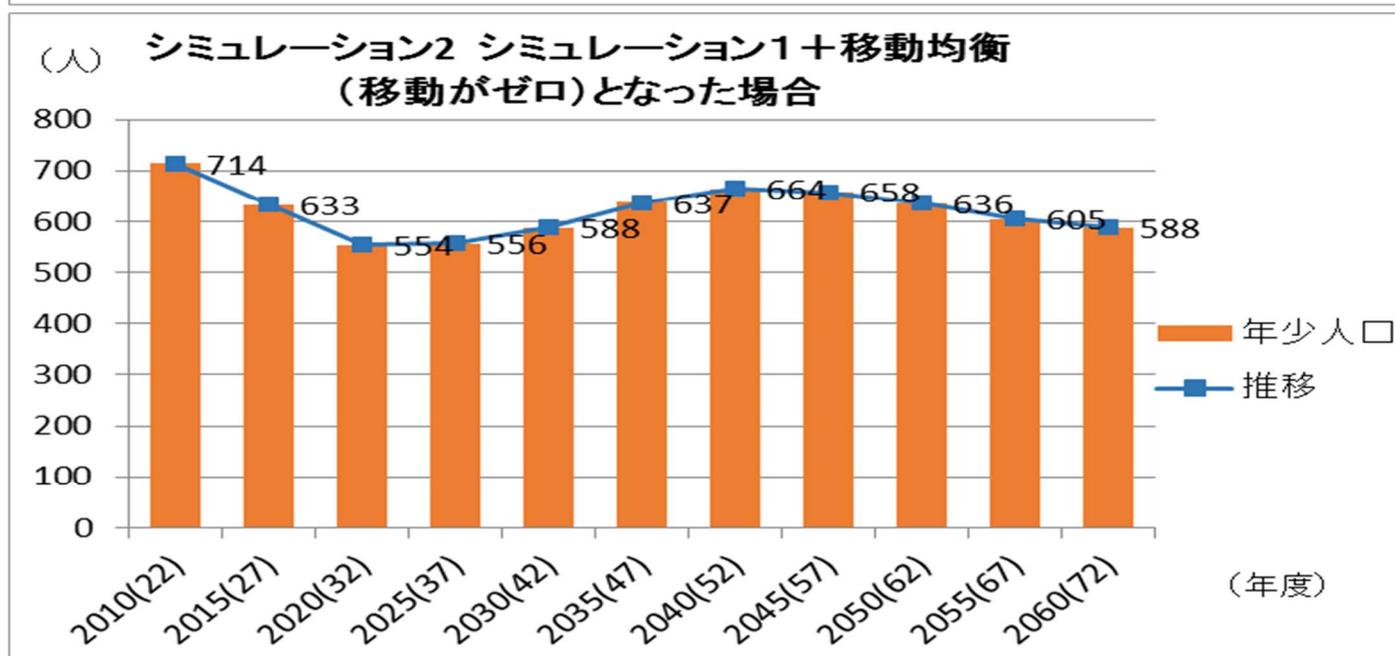
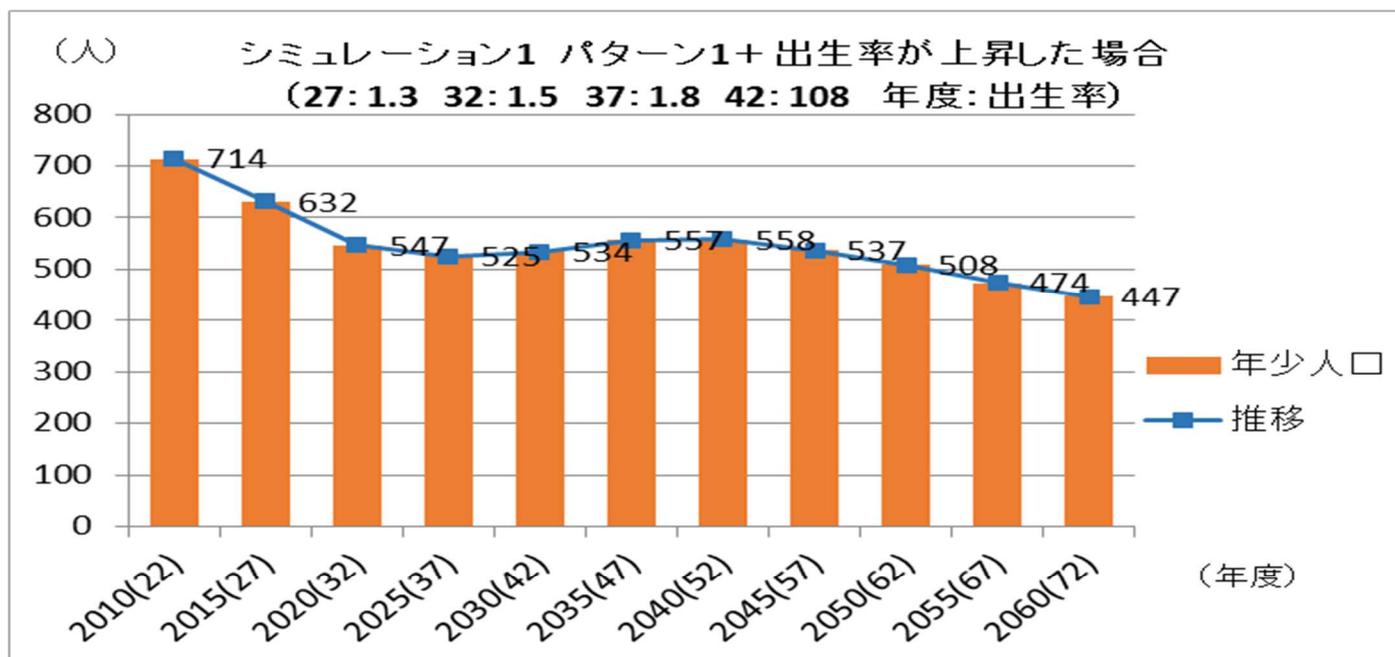
- ① 「生きる力」を身に付けた九戸村の子どもたちの将来像について
- ② 九戸村立小学校の適正規模・適正配置について
- ③ 九戸村学校教育の特質を生かした小中連携教育について
- ④ これらに伴う様々な課題の改善について

児童数・生徒数の推移



「九戸村人口ビジョン」から見る年少人口の推移





ふるさと「くのへ」を思い、 夢に向かってはばたく人

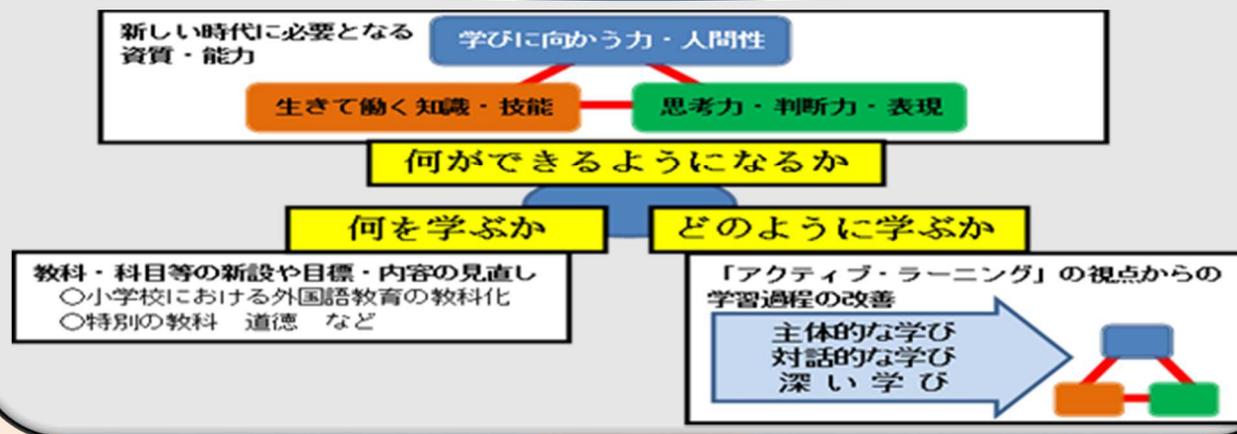
- 自ら考え、共に学び、高め合う子
- 人を大切にし、想像力が豊かな子
- 自ら健康で、たくましい心を育む子

ふるさと「で」学ぶ
ふるさと「を」学ぶ

ふるさと「くのへ」キャリア教育
ふるさと「くのへ」地域学習

ふるさと「で」学ぶ
ふるさと「から」学ぶ

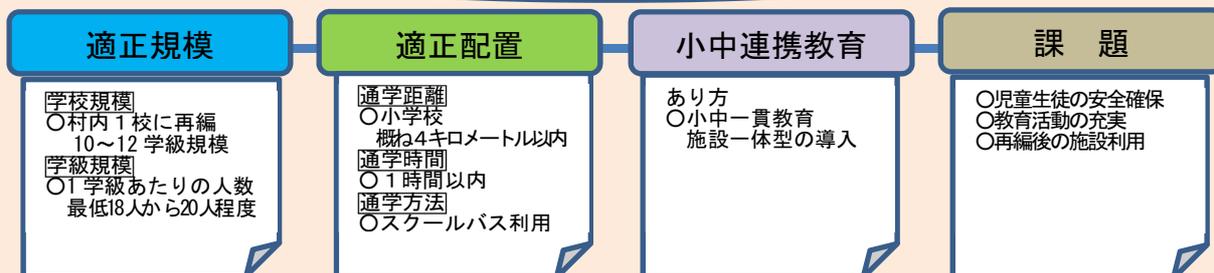
次期学習指導要領における学びの方向性



子どもに付けさせたい力

- I 基本的な力
(読み書き計算、情報のスキル、学び方のスキル、基本的な知識、健康体力・命の尊重)
- II 高次の認知能力
(思考力、問題解決力、判断力)
- III 対人関係形成力・社会的能力
(表現力・コミュニケーション力、協調性、他者理解、社会参画力)
- IV 人間的自立・生き方
(自制心、主体性、自尊心、人間的感性、規範性)

望ましい教育環境



ふるさと「くのへ」を思い、 夢に向かってはばたく人

- 自ら考え、共に学び、高め合う子
- 人を大切にし、想像力が豊かな子
- 自ら健康で、たくましい心を育む子

『ふるさと「くのへ」を思い、 夢に向かってはばたく人』について

- ・九戸村に誇りを持ち、ふるさとを大切に思う気持ち
- ・九戸村の歴史や文化、自然環境や産業等について学ぶことを通じて、人の営みを感じ、自分も地域のために何ができるかを考えようとする
- ・未来に「夢」を広げ、その実現に向け「くのへ」で学んだことを基に歩いていくこと

● 「自ら考え、共に学び、高め合う子」について

- ・問いを見出し、見通しをもって学習に向かい、自らを振り返る（自主性・主体性）
- ・自分の考えを表現し、他者と切磋琢磨しながら見方・考え方を広げ、問題を解決する（多様性・協働性・コミュニケーション力）
- ・広い視野を持ち、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力

● 「人を大切にし、想像力が豊かな子」について

- ・自分や家族、友だちなどの「人」の「命」「心」「体」を大切にする
- ・自分の考えと共に、他者の意見にも耳を傾け、尊重しながら物事を進めていくことができる協調性
- ・相手の気持ちを想像できる思いやり
- ・将来に向けた「夢」を大きくもち、実現に向けて生きていく

● 「自ら健康で、たくましい心を育む子」について

- ・自らの健康を考え、生活をしていくこと（自律性）
- ・困難に直面しても、最後まで粘り強くやり遂げる忍耐力（自制心）
- ・自らの役割に意義を見出し、責任をもってやり抜く（自尊心）

小規模校のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
児童の学習面	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の学習状況や学習内容の定着を的確に把握できる。 ○個別指導など個性や特性に応じたきめ細かな指導を行いやすい。 ○意見や感想発表などができる機会が増える。 ○個々の能力や適性を伸ばしていきやすい。 ○学校全体で児童生徒の掌握が容易である。 ○クラス替えがなく、互いの関係を深めていく学級づくりをしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集団規模が小さい体育の球技、音楽の合奏、合唱の集団学習の実施に制約が生じる。 ●運動会・遠足・修学旅行等の集団活動の活性化が難しいことがある。 ●話し合い活動や協働作業的な活動で、学習内容の深まりや広がりが難しい。 ●多様な発言を引き出しにくく授業展開に制約が生じる。
児童の生活面	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。 ○異学年交流を重視した教育活動により全校的な児童の交流が深まりやすい。 ○郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。 ○家庭状況、地域の教育環境などを把握しやすい。 ○保護者と地域が連携した効果的な生徒指導ができる。 ○児童が互いによく知り合え、全校の児童・教職員の一体感が深まりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学級のルールや児童の中の価値観や人間関係が固定化されやすい。 ●多様なものの見方、考え方を学ぶこと、そこから自らが新しいルールや文化、人間関係を作り上げようとする機会が少なくなることがある。 ●教員と児童との心理的な距離が近くなりすぎる。 ●人間関係上の問題等が発生した場合に、問題の解消が難しいことがある。 ●生徒指導上、課題がある子供の問題行動に影響を受けることがある。
学校の運営面	<ul style="list-style-type: none"> ○教員相互の連絡調整、連携がとりやすい ○教育目標や教育活動に一貫性をもたせやすい。 ○教材教具等を一人一人に行き渡らせやすい ○教室、体育館、校庭などに比較的余裕があり活用しやすい。 ○校外行事場の場所の選定、活動内容や安全面での制約が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●複式、単学級では一人の教員で学級を経営することになり、指導計画、評価計画、教材研究等の全てを個人作業で行うことになり、負担が大きい。 ●共同研究が難しく、教員相互の連携や切磋琢磨する機会が少なくなることがある。 ●校務分掌や地域社会との連携、教育委員会等への調査報告等で、教員一人当たりの役割が相対的に多くなる。 ●緊急対応時や学級経営に問題が生じた場合等、他の教員による支援体制を構築することが難しくなる。 ●複式学級の場合、直接指導と間接指導を組み合わせた指導が必要となり、教員に特別な指導技術が求められる。

九戸村小学校長会作成 「少人数、小規模校のメリットとデメリットの整理」を参照する。

望ましい教育環境あり方検討委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 将来を担う九戸村の子どもたちに、より良い教育環境を提供し、もって効果的な学校教育実現のために、「望ましい教育環境あり方検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討委員会は、九戸村教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じて、前条の目的を達成するため、九戸村の子どもたちの将来像や少子化に伴う学校生活、学校運営等の課題とその解決策を調査及び検討し、教育委員会に答申するとともに、必要な意見を述べることができる。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員25人以内で組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 議会代表者
- (3) P T A代表・保護者会代表者
- (4) 学校評議員代表者
- (5) 学校長代表者・ひめほたるこども園長
- (6) その他教育長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 同条第1項の規定にかかわらず、前条第1項第2号から第5号に掲げる委員については、その職を退いたときに委員の職を失うものとし、新たな要件を満たす者が委員となる。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選とする。

- 2 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討委員会は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長が互選される前に招集する会議は、教育長が招集する。

- 2 検討委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 検討委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(作業部会)

第7条 委員長は、必要と認めるときは、検討委員会に作業部会を置くことができる。

(庶務)

第8条 検討委員会の庶務は、教育委員会において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

この要綱は、平成28年9月1日から施行する。

望ましい教育環境あり方検討委員会名簿

期間 H28. 10. 1~H30. 9. 30(2年)

番号	所 属	氏 名	備 考
1	岩手大学教育学部 教授	田 代 高 章	学識経験者
2	九戸村議会 議長	上 村 昇	議会代表者
3	九戸村議会 総務教育常任委員長	中 村 國 夫	議会代表者
4	九戸中学校 P T A 代表	尾 友 一 雄	P T A 代表者
5	戸田小学校 P T A 代表	橋 本 健 一	P T A 代表者
6	山根小学校 P T A 代表	田 澤 秀 行	P T A 代表者
7	伊保内小学校 P T A 代表	斉 藤 真一郎	P T A 代表者
8	長興寺小学校 P T A 代表	中 野 剛	P T A 代表者
9	江刺家小学校 P T A 代表	七 戸 真由美	P T A 代表者
10	戸田保育園保護者会代表	觸 澤 英 之	保護者会代表者
11	伊保内保育園保護者会代表	吉 田 一 幸	保護者会代表者
12	ひめほたるこども園保護者会代表	市 橋 謙 二	保護者会代表者
13	九戸中学校学校評議員代表	上 村 陸 巳	学校評議員代表者
14	戸田小学校学校評議員代表	村 田 勝 義	学校評議員代表者
15	山根小学校学校評議員代表	舘 孝 一	学校評議員代表者
16	伊保内小学校学校評議員代表	小野寺 エ ネ	学校評議員代表者
17	長興寺小学校学校評議員代表	高 崎 徳 雄	学校評議員代表者
18	江刺家小学校学校評議員代表	滝 谷 博	学校評議員代表者
19	ひめほたるこども園評議員代表	石 川 ツ エ	学校評議員代表者
20	九戸中学校 校長	吉 田 竜二郎	学校長代表者
21	長興寺小学校 校長	門ノ沢 邦 夫	学校長代表者 (29. 3. 31まで)
	戸田小学校 校長	高 橋 節 夫	学校長代表者 (29. 4. 1から)
22	ひめほたるこども園 園長	小井田 まき子	ひめほたるこども園長 (29. 3. 31まで)
	ひめほたるこども園 園長	橋 本 幸 子	ひめほたるこども園長 (29. 4. 1から)

アンケート調査結果

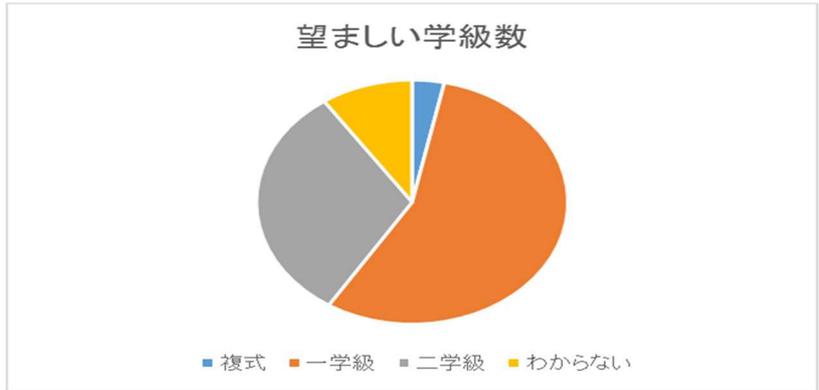
1 アンケート調査

- 調査期間 平成29年3月6日(月) ~ 10日(金)
- 調査対象 就学前保護者・小中学生保護者
- 回収率 90.45%

2 アンケート調査結果 1 望ましい学級数

問4

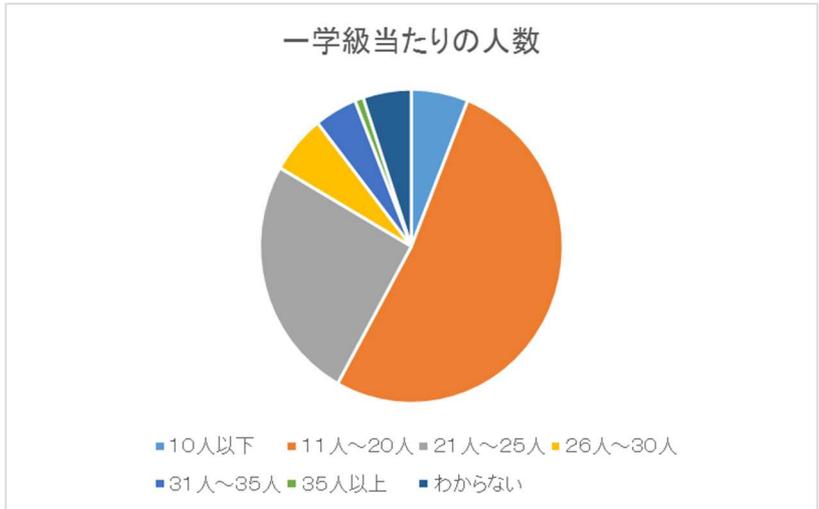
項目	%
1 複式	3.5
2 一学級	55.1
3 二学級	31.1
4 わからない	9.4



3 アンケート調査結果 2 望ましい一学級当たりの人数

問5

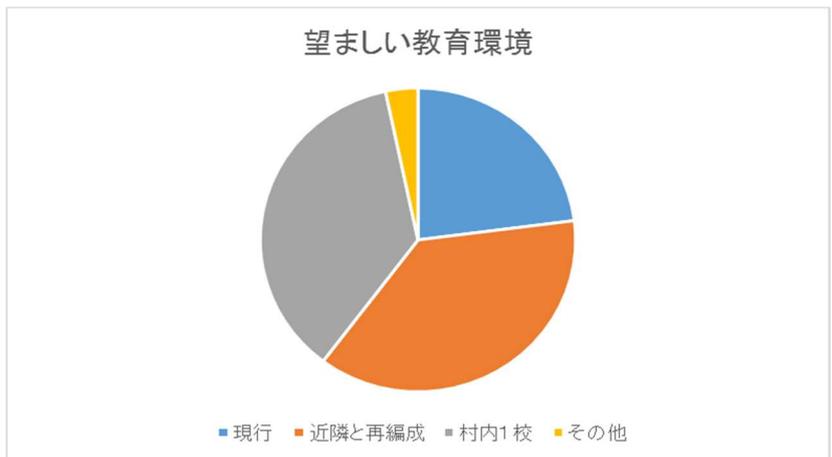
項目	%
10人以下	5.9
11人~20人	51.6
21人~25人	25.2
26人~30人	5.9
31人~35人	4.4
35人以上	0.9
わからない	5.1



4 アンケート調査結果 3 九戸村の将来を担う子どもたちの教育環境

問6

項目	%
1 現行	22.9
2 近隣と再編成	37.2
3 村内1校	36.4
4 その他	3.2



回答率 90.45%
 送付総数 377
 回答者数 341

No	設問	No	項目	回答数	率
1	性別	1	男	97	28.4%
		2	女	244	71.6%
2	年代	1	20代	28	8.2%
		2	30代	148	43.4%
		3	40代	148	43.4%
		4	50代	13	3.8%
		5	60代	3	0.9%
		6	その他?代	1	0.3%
3	所属小学校	1	戸田	65	19.1%
		2	山根	26	7.6%
		3	伊保内	137	40.2%
		4	長興寺	54	15.8%
		5	江刺家	58	17.0%
4	望ましい学級数	1	複式	12	3.5%
		2	1学年1学級	188	55.1%
		3	1学年2学級	106	31.1%
		4	わからない	32	9.4%
5	望ましい1学級あたりの児童数	1	10人以下	20	5.9%
		2	11～20人	176	51.6%
		3	21～25人	86	25.2%
		4	26～30人	20	5.9%
		5	31～35人	15	4.4%
		6	36人以上	3	0.9%
		7	わからない	17	5.0%
6	望ましい教育環境	1	現行	78	22.9%
		2	近隣と再編成	127	37.2%
		3	村内1校	124	36.4%
		4	その他	11	3.2%

望ましい教育環境あり方検討委員会（経緯）

月 日	協 議 議 題	情報提供
第1回委員会 平成28年 10月21日（金） 午後3時から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 諮問手交 <input type="checkbox"/> 協議事項 ○検討委員会の運営について ・委員長に田代教授を決定 ・検討委員会の設置の趣旨及、目的及び検討日程の確認 ○九戸村の小中学校の現状について ・児童数・生徒数の推移 ・法令等から見た適正規模	九戸広報 「No705」 ホームページ 委員会だより
第2回委員会 11月18日（金） 午後3時から 九戸村公民館 HOZ ホール	<input type="checkbox"/> 講義 岩手大学教育学部 教授 田代高章 氏 「これからの時代、子どもたちに求められる力はなにか」 <input type="checkbox"/> 九戸村の子どもたちの将来像について <input type="checkbox"/> 九戸村の目指す子ども像・人間像 <input type="checkbox"/> 九戸村小学校統合・再編計画の推移 <input type="checkbox"/> 県内・近隣市町村の望ましい教育環境整備に向けた取組 <input type="checkbox"/> 小規模校を存続させる場合の充実	ホームページ 委員会だより
第3回委員会 平成29年 1月12日（水） 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 九戸村の子どもたちの将来像について ・九戸村の目指す子ども像・人間像 <input type="checkbox"/> 将来像実現にむけた学習環境、適正規模について ・学校規模の適正化に関する基本的な考え方 ・学校規模等による教育効果	ホームページ 委員会だより
第4回委員会 2月3日（金） 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 九戸村の子どもたちの将来像について ・九戸村の目指す子ども像・人間像 <input type="checkbox"/> 将来像実現にむけた学習環境、適正規模について ・学校規模の適正化に関する基本的な考え方 ・学校・学級規模等に関する現行制度 ・学校規模別のメリット・デメリット <input type="checkbox"/> アンケートの実施について	ホームページ 委員会だより
3月6日（月） ～3月10日（金）	アンケート調査実施 ・調査対象 就学前保護者、小中学校生保護者 送付総数377人 回答者数 341人 回答率 90.45%	ホームページ 委員会だより

月 日	協 議 議 題	情報提供
第5回委員会 3月29日(水) 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 九戸村の子どもたちの将来像について <ul style="list-style-type: none"> ・九戸村の目指す子ども像・人間像 <input type="checkbox"/> 適正規模・適正配置について <input type="checkbox"/> 学校規模の適正化について <input type="checkbox"/> アンケート結果について <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果及びご意見の集約 ・近隣学校との統合シミュレーション 	ホームページ 委員会だより
第6回委員会 5月10日(水) 午後6時30分から 九戸村公民館 HOZ ホール	<input type="checkbox"/> 適正規模について <ul style="list-style-type: none"> ・九戸村の目指す子ども像・人間像実現にむけた適正規模 ・アンケート結果を考慮した適正規模 <input type="checkbox"/> 適正配置について <ul style="list-style-type: none"> ・通学距離、通学時間、通学方法の基準 ・教育課題 ・他市町村の配置基準 	ホームページ 調整後公表 委員会だより 「No.2」
視察研修 5月16日(火)	盛岡西西峰学園 盛岡市立土淵小・中学校(施設一体型) <input type="checkbox"/> 盛岡西峰学園の小中一貫教育	
視察研修 5月17日(水)	秋田市立雄和小・中学校(施設一体型) <input type="checkbox"/> 小中一貫した考えに立った導入の経緯 <input type="checkbox"/> 小中一貫した考えに立った教育内容の現状と課題	
第7回委員会 6月7日(水) 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 適正配置について <ul style="list-style-type: none"> ・通学距離、通学時間、通学方法での課題 <input type="checkbox"/> 小中連携について <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育等導入の実態 ・小中一貫教育の効果と課題 ・研修視察概要 	ホームページ 調整後公表 委員会だより 「No.2」
視察研修 6月22日(木)	普代村立普代小学校、普代村立普代中学校 (分離型小中一貫校) <input type="checkbox"/> 普代村が進める「小中一貫教育」	
視察研修 6月23日(金)	三戸学園 三戸町立三戸小・中学校・三戸町立斗川小学校 (施設一体型小中一貫校、分離型) <input type="checkbox"/> 三戸町の小中一貫教育	
第8回委員会 6月30日(金) 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 適正配置について <ul style="list-style-type: none"> ・配置基準を踏まえた学校配置の方向性 ・通学距離、通学時間、通学方法での課題 <input type="checkbox"/> 小中連携について <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の導入・導入形態、効果 ・研修視察概要 	ホームページ 調整後公表 委員会だより 「No.2」

月 日	協 議 議 題	情報提供
第9回委員会 7月27日(木) 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 学校配置について <ul style="list-style-type: none"> ・配置基準を踏まえた学校配置の方向性 <input type="checkbox"/> 諸課題について <ul style="list-style-type: none"> ・再編後の学校のあり方 ・再編後の児童生徒の教育活動の充実 ・児童生徒の安全指導のあり方について ・再編時期、再編施設のあり方について <input type="checkbox"/> 答申案(素案)について	ホームページ 調整後公表
第10回委員会 8月28日(月) 午後6時30分から 九戸村役場 第2会議室	<input type="checkbox"/> 答申案について	ホームページ 調整後公表
8月30日(水)	答申	九戸広報 ホームページ